

さきょうくしゃきょうだより



マスコットキャラクター
あかりちゃん

「さきょうくしゃきょう」は社会福祉法人京都市左京区社会福祉協議会の略称です

特集

こころのひとりぼっちをなくそう!

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるために、地域福祉活動計画を策定しました。

知る・学び合う



災害ボランティアセンター研修会で防災・減災について学ぶ

出会う・ふれ合う



介護予防のすこやかサロンで交流する

支え合う・助け合う



雪かきボランティアの活動を通じて山間地域への理解を深める

トピック

P. 2～3

特集 こころのひとりぼっちをなくそう!

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるために、地域福祉活動計画を策定しました。

P. 4

ボランティアグループ連絡会加入グループ紹介

こころのひとりぼっちをなくそう！

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、私たち住民一人ひとりが、地域でのつながりを大切に、「助け合い」「支え合う」ことが重要です。左京区社会福祉協議会では、これまで左京区の現状にあわせた住民の福祉ニーズや課題に対応できる地域を目指すべく、「左京区地域福祉活動計画」を平成15(2003)年度から3期にわたり策定し、この計画を基本に活動してきました。

そして、福祉を取り巻く情勢が変化する中、地域福祉のあり方を見直し、地域共生社会の実現に向けて、第Ⅳ期活動計画(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)を策定したため、計画の概要をご紹介します。

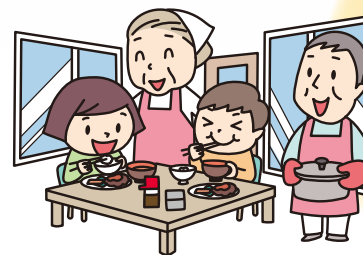
令和2(2020)年度～令和6(2024)年度
左京区地域福祉活動計画 第Ⅳ期

スローガン	こころのひとりぼっちをなくそう！
基本理念	あなたと私を大切にし、人と人の“つながり”を地域に広げるまちづくりを推進します。
重点課題	重点課題1「地域のつながり・絆づくり」 (1) 年齢や障害に関係なく、すべての地域住民同士がつながり、支え合いながら、「役割を持って参加＝社会参加」できる地域づくりを目指します。
	重点課題2「基盤づくり」 (1) 住民主体の地域福祉活動をすすめていくうえでの担い手育成を行います。 (2) 社会福祉施設等の地域公益活動や企業・大学等の社会貢献活動と連携しながら、住民主体の活動の充実を図ります。
	重点課題3「北部・中北部支援」 (1) 住民の北部・中北部の山間地域への関心・理解を深めます。 (2) 生活基盤の改善に向けた働きかけを行います。
	重点課題4「広報・啓発」 (1) 高齢者・障害のある方・子育て世帯や、支援が必要な社会的孤立状態にある方についての理解を深める機会をつくります。 (2) 必要な人に必要な福祉に関する情報を速やかに届けられることができるよう努めます。
	重点課題5「災害に強い、安心・安全のまちづくり」 (1) 平常時より、災害関連における役割分担等について各種団体と協議し、いざというときに迅速に連携・協働できる体制を構築します。 (2) 災害ボランティアセンターの役割・機能についてより多くの住民に知ってもらい、「受援力」を高めましょう。

出会う・ふれ合う (つながる実践)

例えば…

- 介護予防のすこやかサロン、気軽に集える居場所、子育てサロン、子ども食堂など、交流できる機会をつくる。
- 個別訪問などを行い、必要な情報が必要な人に届くように広報・啓発活動を行う。



新型コロナウイルスの影響もあり、地域活動が実施しにくい現状です。
こんな時だからこそ、これまでの住民主体の活動を振り返るとともに、これからの新しい福祉のまちづくりと一緒に考えていきましょう。



知る・学び合う (課題の発見・共有)

例えば…

- ボランティア入門講座などに参加し、福祉について考える機会をつくる。
- 認知症サポーター養成講座や、認知症高齢者声かけ訓練に参加し、認知症に対する正しい知識と理解を持つ。



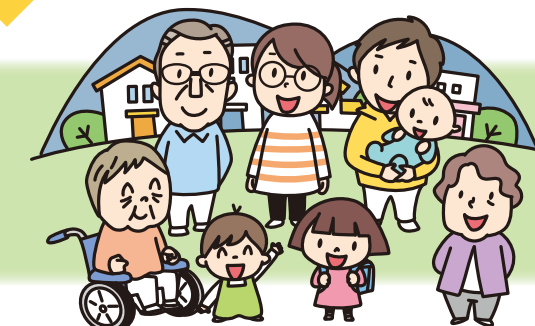
支え合う・助け合う (課題解決に向けた実践)

例えば…

- 雪かきボランティアなど、北部・中北部の取組に参加する。
- 平常時から、避難訓練への参加や避難マニュアル・防災マップを作成し、災害時に備える。



誰もが安心して暮らせる 地域共生社会の実現



岩倉地域では、農園を交流拠点に、 新たにつながる実践が始まっています！

いわくら
農園倶楽部

開所日 毎週土曜日 9:30～12:00
会費 無料
問合せ先 京都市岩倉地域包括支援センター
TEL: 075-723-0800

これまで月1回開催していた認知症カフェをコロナ禍によって自粛した代わりに、3密を避けながら認知症の進行防止や、閉じこもりを解消することを目的に、農園活動を始めました。
認知症の方だけでなく、地域の方や近所の児童館とも協働し、農園が地域のさまざまな人たちの交流拠点となることで、認知症への理解を広げることを目指しています。
活動に参加されている鈴木さんは、「自粛生

活中は、コロナの暗いニュースばかり耳に入り、気分が沈んでいた。新たな活動の場・集いの場ができて嬉しい。収穫したサツマイモのつるで、きんぴらを作ってみよう」と笑顔で話されていました。
また、収穫した野菜は、子ども食堂に寄付したり、プチ・マルシェとして児童館にて、お迎えに来た保護者たちに安価で販売するなど、子どもたちの食の応援にもつながっています。

▼初めて体験する方も
一生懸命苗を植えました



▲採れたての野菜を笑顔で販売する鈴木さん

子ども文庫 やかまし村



子どもたちと“本”の出会いの場、
子どもたちと“地域のおとな”の出会いの場

子ども文庫やかまし村は、個人宅の10畳ほどの一室でひらかれている家庭文庫です。絵本や児童文学、科学読み物などが、壁一面の本棚になんと約7,600冊もあります。厳選された新しい本が追加される一方で、親の世代が手にした今はもう手に入らない本など、懐かしい本もあります。本を借りる際にどんな本がいいかな？と迷ったら、じっくり相談に乗って貰いながら、とっておきの1冊を選ぶこともできます。

文庫では、本との出会いをサポートするのはもちろん、

子どもたちの企画によるお楽しみ会やワークショップなど（おもしろクラブ）も開催し、子どもたちの生きる力を育んでいます。

昔に比べて生活のスピード感が速くなってしまいました。更に今はコロナ

禍ということもあり、不安や制限のある日々です。そんな今だからこそ、本の世界でゆっくり過ごし、本の中を自由に旅してみたいかがでしよう？ぜひ一度、文庫で素敵な本との出会いを体験してみてください。



文庫での読み聞かせの様子



子どもたちも物語の世界へ…

開庫日 毎週水曜日 15:00～18:00
(第2・4水曜日は19:00まで)
本の貸し出し：1人5冊まで2週間

会費 無料

問合せ先 左京区社会福祉協議会
TEL：075-723-5666
子ども文庫やかまし村
E-mail：yakamasi1950@yahoo.co.jp



※おもしろクラブの企画や読書会などは随時開催。
日程は、お問合せください。

つながりにくい今だからこそ、
ボランティア
始めてみませんか？

左京区社会福祉協議会では、地域でのボランティア活動をサポートしています。ご自身の趣味や特技を生かしたい方、ボランティアに興味のある方は、下記の連絡先までお問い合わせください！

本誌に関する内容についてご興味・ご関心のある方はこちら。社協に関する情報は、本誌の他、ホームページ・SNSでもご紹介しています。

社会福祉法人
京都市左京区社会福祉協議会
左京区ボランティアセンター

発行責任者 山田 栄一

〒606-8103 京都市左京区高野西開町5番地

京都市左京合同福祉センター 3階

TEL 075-723-5666 / FAX 075-723-5665

E-mail s-csw@sakyoku-syakyo-kyoto.jp

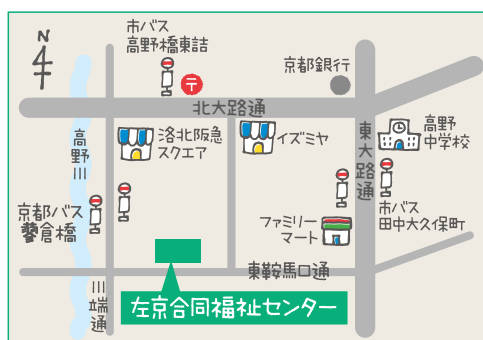
ホームページ <http://www.sakyoku-syakyo-kyoto.jp/>



▲Twitter



▲Facebook



駐車場はありません。公共交通機関でお越し下さい。